

近鉄グループホールディングス（株）に対し、 「DBJ BCM格付」に基づく融資を実施 －近鉄グループとして最高ランクの格付を8年連続取得－

株式会社日本政策投資銀行（以下「当行」という。）は、近鉄グループホールディングス株式会社（本社：大阪市天王寺区、代表取締役社長：吉田昌功、以下「当社」という。）の子会社であり、当社グループの中核事業会社である近畿日本鉄道株式会社（以下「近畿日本鉄道」という。）に対し、「DBJ BCM格付」に基づき評価を実施し、かかる格付に基づき当社に融資を実施しました。

「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、運輸、不動産、流通、ホテル・レジャーなど多様な事業を擁しており、公益性の高い運輸事業を中心に徹底した安全対策に取り組むとともに、多様な場面を想定した訓練を実施するなど高度な事業継続活動を実践しています。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 2019年6月に、近畿日本鉄道と株式会社近鉄リテーリング間において、異例事態が発生した際に株式会社近鉄リテーリングが運営するコンビニエンスストアであるファミリーマートの店内の商品について、近畿日本鉄道への円滑な提供が可能となる協定を締結した。これにより、帰宅困難者が発生した際などに備えた異業種間共助連携に取り組んだ点
- (2) 鉄道事業に必要な資機材の戦略在庫を確保するとともに、2019年4月から停電時に難波トンネルおよび生駒トンネル内で停止した列車の乗客を避難させる為に最寄り駅まで走行させる蓄電池を設置するなど各種ボトルネックの解消策を講じた点
- (3) 2019年10月には『事業継続計画(BCP)（鉄道事業編）地震災害版』の中で、これらボトルネック資源への対策状況を明記し、各種対策の組織化、継続化に関するマネジメント体制を構築した点

その結果、近畿日本鉄道は「防災及び事業継続への取り組みが特に優れている」という格付を取得しました。なお、当社グループは「DBJ BCM 格付」の最高ランク 8 年連続取得となりますが、これは関西地域に本社を置く企業としては初めての事例となります。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの
弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展
を実現します～」に基づき、有事における事業継続の推進に向けたお客様の
取り組みを積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455